



# 聖心



カトリック聖心教会  
豊田市聖心町 4-44-13  
発行 2025年12月  
127号(抜粋)



## 「主の御誕祭おめでとうございます」

エルネスト 島袋幹男 主任司祭

皆さんも、今、主の御誕祭のため、色々準備で忙しい12月を過ごされていると思います。聖心教会でも、色々皆さんの協力で、幼子イエズス・キリストを向かうために、一致して一人ひとりの役割で、今年も良いクリスマスになりますように頑張ってくださいました。



この2025年の終わりになって祈ります。来年2026年が良い年になりますように。私達のうちに、神の平和がありますように。

人間は平和を求めているけれど、人間の力では実現することは出来ません。神の助けて、人間は平和で暮らすことできることを、私達キリスト者は信じています。

幼子イエズス・キリストがこの世に来たのは、私達に神の愛を教えて、人間は神の平和で生きるようにと、主イエス・キリストが私たちを神の国に招くために、この世に来て下さいました。

2025年の今でも人間は平和で暮らすことを学んでいません。私達は、これからも一人ひとりイエスの弟子として、この世のために、イエスの教えである、神の平和を実現出来るように宣教を続けましょう。



# 「豊田に来て、早や 7か月」

シスター 村木 あゆ芽

「聖心教会の皆さん、はじめまして・・・」とごあいさつをして、7か月が経ちました。月日が経つのは早いです。にもかかわらず、わたしはまだ、皆さんのお名前を覚えきれていません。もともと名前を覚えるのは苦手な方なので困ります。主日のミサでお顔を拝見し、「あ～、この方は毎週お見かけする方。の方は数週間いらしていなかったかしら・・・」などと、一人で思い、ミサに参加させていただいています。そこで、まずわたしのことを少しお話させていただきます。

名前は、村木あゆ芽といいます。聖靈会のシスターで、修道名は Gratia。豊田聖靈修道院に住んでいます。そして、隣の幼稚園に看護師として今年 5 月から勤め始めました。出身地は愛知県瀬戸市、定光寺がすぐ裏手になる所に実家があります。縁が多く季節折々の木々がきれいです。中学生から聖靈学園の中學と高等学校へ通い、聖靈看護専門学校へ入学、就職、そのまま聖靈会に入会をし、今に至っています。少しの間、語学と異文化の体験のために海外にいましたが、ほとんど名古屋市に住んでいましたので、ここ豊田市に移り住むというのは、わたしにとって初体験なのかもしれません。

ここ聖心教会近辺は縁が多く、街並み、人とのかかわりなどを通してゆったりとした雰囲気を感じさせていただいています。まるで実家にいるかのように。特に移動をする前は名古屋の病院で仕事をしていたのであわただしい日々も過ごすことがありました。今は本当に穏やかに毎日を過ごさせていただいています。まだ、ここでは新米なので、お仕事もあまり回ってきていないと思います。これから、一つひとつ学び、体験をし、身につけていきたいと思っています。

教会の皆さんも国際色豊かでブラジル、フィリピン、ペルー、ベトナム、そして、日本など多くの方々と出会うことができ、とてもうれしいです。神さまの子であるわたしたちが一緒に暮らしているのだなあと感じています。日本語以外話せないわたしですが、言葉を超えたかかわり、微笑み・仕草・姿・ジェスチャーなどを大切にしながら共に歩んでいきたいと思っています。

最後にわたしは、お日様の下で、砂浜や芝生の上に横になり、青い空・青い海・白い大きなモクモクした雲、緑の草花などを見ているのが大好きです。何にもしない。ただ神さまがお造りくださった自然の中で過ごすひとときは最高です。

豊田市のこと、聖心教会のこと、これからたくさん学んでいきたいわたしです。一つひとつ教えてくださいますように。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

